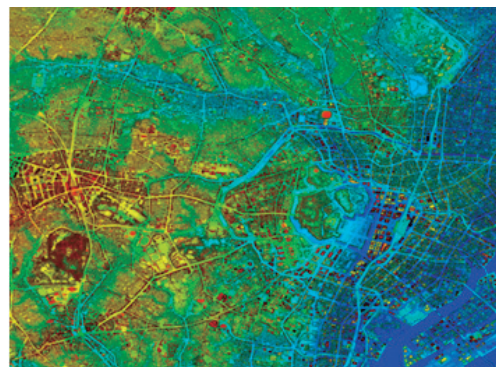


公益財団法人 日本測量調査技術協会

平成26年度事業報告

公益目的事業の推進（基本方針）

- (1) 先端測量技術の高度化と活用力の向上及びその普及
- (2) 地理情報の国際標準化と地理情報標準の普及
- (3) 測量成果の品質向上に貢献
- (4) 空間情報産業としての振興とPR



1. 会員の動向

会員区分	H 26年 3月末	H 27年 3月末	増減
正会員	79 社	80 社	1 社
賛助会員	12 社	13 社	1 社
計	91 社	93 社	2 社

・正会員

トップライズ(株) (入会)・(株)GEOソリューションズ(入会)・(株)ジェノバ(移動)・(株)共栄測量設計社(退会)

・賛助会員

日本海航測(株) (入会)・(株)ゼンリン(移動)

2. 主要会議の開催状況

1) 評議員会・理事会

区分	開催年月	主な審議
評議員会	6月・12月・2月	決算承認、評議員補充・役員選任、変更認定申請
理事会	5月・6月・11月 2月・3月	評議員会開催承認、決算承認、代表理事・業務執行理事の選定 執行理事の選定、変更認定申請、H 27 年度事業計画・収支予算承認

2) 委員会

区分	開催年月	主な審議
運営委員会 (委員 18 名)	5月・11月	運営委員再任の承認、運営の今後について 測量技術者育成検討部会への意見
事業委員会 (委員 28 名)	6月・2月	活動方針、標準歩掛改定の要望取りまとめ 品確法運用指針、入札契約、技術者単価等への要望取りまとめ
地区事業委員会 述べ 229 名 / 75 社	7月・9月・10月 11月・12月	講演会 (CPD 証明書発行) 関東、北陸・信越、東海、近畿・中国、九州、 北海道・東北で開催 ①国土地理院新たな基本測量に関する長期計画と研究開発基本計画 ② S-GI-Cert について
技術委員会 (委員 33 名)	6月・9月・11月 2月	H 26 年度活動方針、技術部会活動計画、技術発表会、活動報告、国土 地理院との意見交換 測技協キャビネット開設
編集委員会	6月	先端測量技術 106 号編集内容の審議

3. 技術研究活動

1) 技術研究部会・WG活動（自主研究活動）

名称	登録者	登録会員	開催回数	主な活動
空中計測・マッピング部会	56 名	48 社	5 回	標準歩掛意見集約・ヒアリング、準則見直し等
レーザWG	14 名	11 社	7 回	ポータルサイト運営、日韓レーザシンボ・セミナー開催
MMS_WG	52 名	33 社	1 回	歩掛作成ロードマップ、事例集改定
3次元地図データ構築技術 WG	26 名	18 社	4 回 (幹)	業務支援

位置情報・応用計測部会 GNSS_WG 河川の深浅測量WG	44名 8名 20名	40社 7社 17社	5回 4回 4回	意見交換会、勉強会、委員会参加 マルチパス実証実験 ダム堆砂測量におけるマルチビーム業務検討
GIS部会	57名	51社	6回	ソフトウェア・データ、利活用・ソリューション 技術面の調査研究
国土管理・コンサル部会 UAV技術WG	28名 42名	26社 27社	5回 5回	ハザードマップ事例研究、液状化判読要領・チャート 社会資本のメンテナンスに役立つ先端測量技術 事例紹介、活用事例と検討課題の取りまとめ
技術普及部会	14名	14社	2回	測量調査技術発表会の運営、S-GI-Cert 講習会
計（述べ）	361名	292社	47回	

2) 外部委員会への委員派遣

国土地理院測量行政懇談会、公共測量に関する調査検討委員会等の9委員会に11名の委員を派遣する

3) 意見交換会の開催と会議等への参加

国土地理院との意見交換会を5回開催した。また、国連のUNCE-GGIM会議に会員2社が参加する

4) 受託研究活動

国土交通省国土地理院、国土技術政策総合研究所より4物件の受託研究を実施する

4. 技術普及活動

1) 第36回測量調査技術発表会を開催 平成26年7月4日 新宿区四谷区民ホール 来場者：340名

●技術発表9編、部会・WG発表3編

●特別講演「AR（拡張現実）と先端測量技術」東京大学大学院情報学環池内教授

2) 優秀発表表彰 3件

3) 機関誌「先端測量技術」106号発行

4) 航空レーザ測量データポータルサイトの改良

●地域検索、データ検索機能（データ管理者、計測密度、計測期間、計測会社）

5) 第5回日韓レーザ計測シンポジウムを開催 平成26年8月27日 韓国ソウルCoex 参加者：82名

6) G空間EXPO2014で、測量4団体による地理空間情報フォーラム2014を開催 平成26年11月13日～14日

●S-GI-Cert講習の無料講演を行う 来場者：76名

7) 電子国土賞の推薦団体として活動

8) 航空レーザセミナー2014 in 札幌を開催 平成26年12月5日

札幌コンベンションセンター 来場者：114名

9) 図書販売

●航空レーザ測量による災害対策事例集の販売 / 謹呈 累計：803部（H26/122部）

●公共測量積算ハンドブック（平成25年度版） 累計：352部（H26/34部）

10) 「測技協キャビネット」の開設

11) 国土交通大学への講師派遣及び講習会の受講者推薦

12) 国土地理院に部外研究員を派遣

13) その他の技術普及活動

●「測量の日」関連行事に実行委員会として参加 記念グッズ配布

●地図展の開催に地図展推進協会として参加



5. 地理情報の標準化活動

1) ISO/TC211の国内審議団体として国内委員会、幹事会を組織

2) ISO/TC211国内審議団体活動

●第38回ISO/TC211総会 平成26年6月2日～6月6日 ドイツ・ベルリン市

- 第39回 ISO/TC211 総会 平成26年11月24日～11月25日 中国 深圳市(シンセン)
- 場所識別子(P1)の原案作成、とりまとめを担当、投票開始に向けての議論
- 3) 地理情報 JIS 原案作成委員会を組織
 - メタデータ、符号化、データ品質の分科会が活動中
- 4) 地理情報標準認定資格制度(S-GI-Cert)の実施状況
 - 地理情報標準の普及を目指して創設した本制度は2年目を迎えた。今年度の実施は下記のとおり

	講習試験日	実施場所	試験問題	受講者(受験者)	合格者等
初級技術者	7月11日	仙台・東京・名古屋 大阪・福岡	5者択一式 30問	313名 (325名)	226名 (69.5%)
中級技術者	10月9日～ 10月11日	東京・大阪	多肢択一式20問 記述3問	65名 (87名)	19名 (21.8%)

- 講習・試験委員会を11回、上級技術者会議を3回、資格認定委員会を5回開催
- 国土地理院の「請負測量業務の競争入札のための測量技術者の認定資格」に登録
(平成26年7月25日)
- 2年間の累計で、初級技術者483名、中級技術者41名、上級技術者8名が誕生
S-GI-Cert 技術者532名誕生

6. 成果検定事業

- 5年目を迎えて、検定者等の充実と検定室内の環境整備を実施
- 基本測量及び公共測量の空中写真撮影、数値地形図データ作成(車載型レーザ測量)、写真地図作成
航空レーザ測量、基盤地図情報作成、砂防基盤地図データの成果検定を実施
- 検定実績: 基本測量300万円、公共測量3,486万円、合計3,786万円、81件
- 品質向上講習会の開催
 - これまでの指摘事項を整理・分析して品質向上講習会を開催

	開催日	参加人数	カリキュラム(午前)	カリキュラム(午後)	測量CDP
東京会場	6月19日 ～6月20日	19名	測量法と公共測量 公共測量標準図式 と適用の注意点 技術討論会	事例研究ⅠⅡⅢ 演習:品質管理 品質向上	11ポイント
大阪会場	7月31日 ～8月1日	18名			

7. 緊急撮影対応等

- 南海トラフ地震等の地震災害を想定した緊急撮影及び画像伝送訓練
(6月19～20日)
- 九州・沖縄地方の緊急撮影体制の確認調査(7月8日～)
- 四国地方でのSAR緊急観測に関する調査(8月3日)
- 六甲山系砂防事業にかかる空中写真撮影(垂直)の出動要請(8月9日～)
- 六甲山系砂防事業にかかる空中写真撮影(斜め)の出動要請(8月15日～)
- 近畿地方整備局地震災害時初動対応訓練(9月3日)
- 静岡市清水区の斜め写真撮影に関する調査(10月6日)
- 南海トラフ巨大地震を想定した大規模津波防災総合訓練(11月8日)
- 国土地理院「災害時における緊急撮影に関する協定書」の見直し(斜め撮影)



8. 対外関係活動と関連行事

- 業務執行理事及び事務局による外部委員会、関連団体連絡会議、報告会、説明会等への参加